



新コロambo計画 ファクトシート

新コロambo計画は、オーストラリア政府における重点的な取り組みとして、オーストラリア人学部生に対し、インド太平洋地域に留学し、インターンシップを体験する新しい機会を提供するものです。これにより、インド太平洋地域についての造詣を深めることを目的としています。

新コロambo計画は革新的変化を実現し、オーストラリアにおける地域との関係を強化すると共に、より地域の事情に精通した将来の人材を育成しようという試みです。

オーストラリア政府は、オーストラリア人学生にとってインド太平洋地域への留学がやがては当然のものとなり、オーストラリアの地域全体で高く評価される営みになって欲しいと考えています。

現在まで、西のインドから、北はモンゴル、東はクック諸島までと、計 32 カ国・地域での留学やインターンシップを支援しています。

新コロambo計画は、2014 年、4 カ国・地域で試験的に始まり、奨学生 40 名と交付金受給生 1,300 名以上が留学や就業を体験しました。

この成功を基に翌年、範囲はインド太平洋地域全体へと拡大し、現在は奨学生 68 名及び交付金受給生 3,100 名以上が学んでいます。

2016 年には奨学生の数は約 100 名、交付金受給生は 5,450 名以上と、より多くの学生が留学や就業を体験します。

立ち上げからわずか 3 年で 1 万人以上の学生が支援を受ける計算になります。

なお、新コロambo計画のパトロンには、ピーター・コスグローブ連邦総督が就任しています。

新コロambo計画の概略

- 新コロambo計画には、一年までの期間を対象とした留学やインターンシップ&メンターシップを含む奨学金プログラムと、短長期留学やインターンシップ&メンターシップ、臨床実習、演習や研究を含む柔軟な流動性交付金プログラムのふたつがあります。
- 新コロambo計画は、オーストラリア全大学に在籍する 18 歳から 28 歳までの学部生を対象としていますが、28 歳以上の学生でも、流動性交付金プログラムの対象となる場合があります。
- インターンシップ&メンターシップは、新コロambo計画にとって不可欠の要素です。こうした経験は学生の経歴にとって有利に働くだけでなく、自らの技能を試し、組織の活動に実際に触れると共に、ビジネス人脈を形成する機会を学生に与えます。
- 留学やインターンシップ&メンターシップの手配については、大学や学生、受入れ組織や団体が、全関係者の必要性を考慮して推し進めることになります。
- 大学や学生、オーストラリアや地域の民間組織による協力活動をより支援していくために、新コロambo計画インターンシップ・ネットワークが現在構築されつつあります。
- 新コロambo計画への参加を通じて築いたつながりがその後も長く続くと共に、参加した学生がその後も地域と関わっていけるよう、同窓会ネットワークが築かれる予定です。

詳しくはこちら：<http://japan.embassy.gov.au/kyojapanese/ncp.html>

お問い合わせ：ncp.tokyo@dfat.gov.au